

# 平成29年度総合文化センター自主事業一覧

## 1 質の高い舞台公演の実施「鑑賞系事業:本物の芸術文化に触れる機会を提供」(主催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者(人)
【総合】 ワンコインリレーコンサート	8月22日 9月19日 10月6日 12月18日 1月10日	火 火 金 月 水	iichiko 音の泉ホール	実力のある素晴らしい演奏家たちの音や技を低価格(500円)で楽しんでもらい、芸術文化の素晴らしさを気軽に感じてもらうコンサート。平日昼間に、様々なジャンルの音楽に親しんでいただいた。 ① 雅楽 ② アルプス音楽 ③ 打楽器&マリンバ ④ ヴァイオリン ⑤フルート	①407 ②305 ③323 ④524 ⑤381
【ミュージカル】 キューティ・ブロード	4月12日	水	iichiko グランシアタ	神田沙也加主演のミュージカルで、ポジティブに生きる女性のサクセスストーリーということもあって、若い年代の女性が多かった。「元気の出るミュージカルで、楽しかった」「地方でこんなミュージカルが観れて、とてもうれしかった」など大変満足とした感想が多かった。	1,187
【室内楽】 ナタリー・シュトゥツマン シューベルトを歌う～室内楽伴奏とともに～	5月9日	火	iichiko 音の泉ホール	コントラルト(アルトより低い声域)の名手ナタリー・シュトゥツマンが、シューベルトの歌曲を室内楽の伴奏により歌うという企画。室内楽伴奏は、今回が初めての取組。深く味わいのある歌声で、感情表現に富んだ歌声は、ピアノに弦楽器を加えた伴奏に映え、歌が豊かにきこえた。男性客が多く、「東京でしか聴けないものが大分で聴けた」など大変満足とした感想が多かった。	282
【吹奏楽】 東京佼成ウインドオーケストラ	6月24日	土	iichiko グランシアタ	プロの吹奏楽団の演奏に、中高生の吹奏楽部員を中心に集客。コンクール課題曲から始まり、吹奏楽オリジナル曲、映画音楽、ポップスまで幅広く楽しめる内容で、演奏も実力を発揮した勢いのあるもので、好評であった。加えて、事前レッスン、リハーサル聴講、合同演奏への出演、アフター講習会と楽器奏者向けの企画も多く、団員の熱心な対応に、参加者から高い評価をいただいた。	1,037
【オーケストラ】 九州交響楽団 大分公演	7月9日	日	iichiko グランシアタ	九州唯一のプロオーケストラが、福岡での定期公演と同一プログラムによる演奏会実施との企画で、今年が2年目の企画。今回は、オペラの聖地バイロイトで世界が認めた指揮者セバスティアン・ヴァイグレを迎え、ワーグナーとブラームスのドイツ音楽プログラムで統一した。二人の作曲家の特徴がよく現れた楽曲で、重厚さと端整な構成美が感じられ、聴き応えのある演奏となった。	685
【オペラ】 青島広志のおしゃべりオペラティックコンサート	9月13日	水	iichiko 音の泉ホール	TVでもお馴染みの青島広志氏による、オペラ『ばらの騎士』を、より楽しく、わかりやすく観るための事前レクチャーコンサート。3人の素晴らしい歌姫(1人は男性役)を迎え、甘く切ない世界を歌い上げた。青島氏の卓越したピアノと軽妙な解説に先導され、名場面で演技を交え歌声を披露。青島氏のウィットに富んだ解説が評判で、一緒に歌う場面もあり、会場は盛り上がった。	247
【室内楽】 小林道夫 チェンバロリサイタル	9月27日	水	iichiko 音の泉ホール	バロック音楽に造詣が深く、バッハ演奏においては最高の評価を得る音楽家・小林道夫氏(由布院在住)。当劇場所所有の優雅で繊細な音色が特徴的なイタリア製チェンバロを用いて、「J.S.バッハ作曲『平均律クラヴィア曲集第1巻』」の全曲演奏に挑みました。全24曲の大曲を、後半に向かうほど情熱がほとばしるようなベテランの演奏に、聴衆はすっかり引き込まれました。	382
【オペラ】 ばらの騎士	11月5日	日	iichiko グランシアタ	今年度最大の事業として、愛知県芸術劇場、東京二期会等との共同制作公演。オペラフェスティバルとして世界的に名高いイギリス・グランドボーン音楽祭との提携公演で、衣装・照明・舞台装置も同音楽祭から持込みで、オペラの本場である欧州の豪華で洗練された内容であった。出演は、東京二期会の歌唱力・演技力ともに優れた実力派歌手陣が努め、オーケストラを担った名古屋フィルの名演と共に、観客の絶賛を浴びた。	653

【伝統芸能】 iichiko presents 松竹大歌舞伎 大分公演 「義経千本桜 すし屋」	11月14日	火	iichiko グランシアタ	毎年根強い人気のある歌舞伎公演で、今年は人気のある中村獅童の主演で注目を集めた。演目は、歌舞伎三大名作の一つとして有名な「義経千本桜」で中でも「すし屋」は、いがみの権太と呼ばれるならず者が迎える悲劇の結末に、親子の情と悲哀を感じる作品で、獅童の好演に会場が息をのんだ。また、向陽中学校の生徒120人も鑑賞し、古典芸能に対する興味と知識を深めた。	1,013
【演劇】 かがみのかなたはたなかのなかに	1月20日 1月21日	土 日	iichiko 音の泉ホール	近藤良平、首藤康之、長塚圭史、松たか子の4人の豪華キャストが、鏡をはさんで向こうとこちらで、音楽と踊りを交え見事にシンクロした舞台を披露。開場時から4人の出演者がロビーを行ったり来たりし、観客を不思議な空間に誘い込み、時にコミカル時にシリアル、近づいたり反ばくしたり、その内容に笑い最後は考えさせられる。両日とも満席であった。	1,238
【室内楽】 ベートーベン 弦楽四重奏全曲演奏会 第2夜 (ヴェールズ弦楽四重奏団)	2月3日	土	iichiko 音の泉ホール	ヴェールズ弦楽四重奏団によるベートーヴェン弦楽四重奏全曲演奏会の2年目。今年は、処女作の第3番に始まり、円熟期の第8番、そして最後の作品となった第16番とベートーヴェンの生涯をたどる企画。4人の計算された精緻なアンサンブルで、作曲家の異なる時代での姿が表現されていて興味深かった。男性の聴衆が多いコンサートであった。	266
【ミュージカル】 OITA BROADWAY MUSICAL THEATER	3月11日	日	iichiko 音の泉ホール	公募に応じた7～70歳の80人が半年間の稽古を積み重ね、本場ブロードウェイのミュージカルナンバーでステージを飾る企画の2年目。昼夜ともに、ほぼ満席の人気のある公演となった。演目もビートのある曲から静かなバラードまで幅広く、全16演目の飽きさせない内容であった。プロの振付、歌唱指導を受け、それぞれの能力に応じた配役で演技を身に付け、衣装・照明・音響のスタッフの力を借り、聴衆の感動を呼ぶステージとなった。	1,246
【オーケストラ】 iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 第9回定期演奏会	3月25日	日	iichiko グランシアタ	ホール付きのオーケストラとして2009年4月に結成され、今回9回目の定期演奏会を迎えた。総勢83人、小学校3年生から大学生までのメンバーが、1年間積み重ねてきた練習の成果を披露した。今回は、ピアニストの渡邊智道さんを招き、初めてピアノ協奏曲に挑んだ。アカデミー生のロビーコンサートから始まり、オーケストラの演奏では、雰囲気異なる4曲であったが、それぞれの良さがわかる演奏となった。	1,029

## 2 質の高い舞台公演の実施「鑑賞系事業:本物の芸術文化に触れる機会を提供」(共催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者(人)
第19回別府アルゲリッチ音楽祭 ・子どもによる子どものためのコンサート ・室内楽コンサート (主催:財団法人アルゲリッチ芸術振興財団)	5月16日	火	iichiko 音の泉ホール	水戸室内管弦楽団員の指導を受けたジュニアオケ弦楽アンサンブルが、チャイコフスキー作曲弦楽セレナードを演奏。指導を受け楽曲の表情が豊かになり、大人顔負けの素晴らしい演奏となった。 アルゲリッチと小澤征爾の共演で、大変な話題になった演奏会。県内外から多くの観客が詰めかけた。後半、二人が登場し、絶妙のかけひきによる演奏に聴衆は酔いしれた。歴史的名演となった。	300
	5月17日	水	iichiko グランシアタ		1,950
キエフ・クラシック・バレエ チャイコフスキー 夢の3大バレエ (主催:GAKUONユニティ・フェイス)	9月15日	金	iichiko グランシアタ	ウクライナの首都キエフにある青少年劇場のバレエ団の公演で、チャイコフスキーの3大バレエである「白鳥の湖」等から名場面ばかりを集めたプログラムを上演。子ども連れも多く、バレエの入門編として多くの人たちが楽しんだ。	1,244
第41回大分第九の夕べ (主催:NPO法人おおいた第九を歌う会)	12月17日	日	iichiko グランシアタ	オーケストラ:九州交響楽団、指揮:森口真司、ソロ歌手4人はベテランから若手まで大分出身者で揃え、合唱は40年間活動を続けてきた「おおいた第九を歌う会」が担ったコンサート。年末の恒例となっている「第九」を、160人もの大合唱団で歌い上げ、会場は大きな拍手で応えていた。	1,482

大分県立芸術文化短期大学事業 (主催:大分県立芸術文化短期大学)	通年	-	iichiko 音の泉ホール iichiko グランシアタ	県立芸術文化短期大学が主催する定期演奏会、修了・卒業演奏会、音楽科コンサートシリーズ等の演奏会を開催した。	-
-------------------------------------	----	---	--	---	---

### 3 人材育成事業「普及啓発事業:人を育て活かす」(主催事業)

事業名	開催月日	曜日	会場	事業内容	入場者、参加者(人)
「キューティ・ブロード」映画会鑑賞会	4月7日	日	映像小ホール	ミュージカル「キューティ・ブロード」関連企画として、ミュージカルの原作となったアメリカ映画作品(1, 2)を上映した。楽しい内容で、ミュージカル公演が楽しみだと機運醸成に役立った。	50
吹奏楽塾2017	5月13日 6月24日	日	リハーサル室 など	「東京佼成ウインドオーケストラ」演奏会に先立って、メンバー6人が来館し、楽器ごとに分かれてレッスンが行われた。中学生から社会人まで数を限定した受講生48人に対して、演奏会時に共演する曲をテーマに、実践に即したプロの指摘が行われた。本番当日、リハーサルの聴講、合同演奏への出演、アフター講習会と楽器奏者向けの企画が続き、好評であった。	①: 48 ②:300
小林道夫チェンバロリサイタル 事前レクチャー ①平均律クラヴィーア曲集ってどんな曲? ～クラヴィコードとチェンバロで探る その魅力～ ②竹井成美のバッハのおはなし ～バッハも愛した珈琲を飲みながら～	7月15日 9月3日	日	①リハーサル室 ②亀の井別荘 庄屋サロン (由布市)	①:小林先生が自ら所有のクラヴィコードを持ち込み、チェンバロと比べながら、楽器の特長や音色を解説。作曲者バッハの意図などを含めお話しいただき、一部を演奏し、コンサートへの期待が高まった。 ②:バッハ音楽に詳しい竹井成美(宮崎大学名誉教授)氏によるレクチャー。ドイツ国内を点々としたバッハの暮らしぶりの話から始まり、それぞれの時代に作られた作品をCDで実際に聴きながら解説が行われていった。次には、バッハの知られざる面として、儉約家であったこと、愛妻家・教育パパであったことまで話題が及び、聴衆は興味津々であった。	①:50 ②:30
音楽と科学レクチャー ①みて、きいて納得!ピアノの科学 ②iichiko総合文化センター&OPAMの サウンドスケープを調べよう	8月18日 9月9日	日	①音の泉 ホール ②リハーサル 室、OPAMな ど	①:音の泉ホールを使い、講師:西口磯春(神奈川工科大学教授)氏により音響学の基礎から講義が始まり、ピアノの仕組み、歴史と進み、バッハ・ベートーベン・リストの曲を藤澤菜那さんが実際にピアノを弾き、音域が高音低音に広がっていくことを実感した。次に、ピアノの調律と進み、調律師の協力でピアノを分解し鍵盤を引き出しアクションを見てもらった。更に、実験コンサートと銘打って、ピアノをステージ上で位置を変えながら、また聴く人が座席をあちこち移動し、どこが一番自分の好きな音に聞こえるか捜してもらった。 ②:船場ひさお(音環境デザインコーディネーター・岩手大学)氏を講師に、「サウンドスケープ」とは「音の風景」を意味する。船場先生の解説を受けた後、OPAMの展示室へ行き、絵画を鑑賞しながらサウンドスケープを調査。その後、センターとOPAMを中心に近辺で、自然の音や社会を取り囲む様々な音について、耳をすませた。	①:83 ②:20
ミュージカル体験ワークショップ	8月21～24日 8月27日	日	リハーサル室 アトリウム	8年目を迎え、ブロードウェイミュージカルのナンバーを歌って踊る体験ワークショップが、小学生45人、中高大学生15人、一般34人の計102人が参加し、8月21～24日に稽古、27日にアトリウムでの発表会を行った。小学生を中心に関心が高く、発表会でも多くの観客が詰めかけた。	102

オペラ『ばらの騎士』完全攻略講座 ①喫茶ばらの騎士 Part.1 ②オペラ『ばらの騎士』とウィーンのお話 ～貴族社会の夢～ ③『ばらの騎士』から学ぶ「年上の女性の魅力」 ④『ばらの騎士』から学ぶ、ケチな男の行く末 ～財産管理やFPのおはなし～ ⑤(県立図書館共催企画)オペラを楽しもう ⑥喫茶ばらの騎士 Part.2 ⑦『ばらの騎士』から学ぶ、 「ことばから読み解くオンナとオトコの距離」	9月26日 9月28日  10月5日 10月7日  10月8日 10月13日 10月18日	火 木  木 土  日 金 水	ナンドホール ナンドホール  映像小ホール 中会議室1  県立図書館研 修室 映像小ホール 映像小ホール	11月5日開催のオペラ「ばらの騎士」に関するレクチャーを、中山欽吾館長を講師に、コーヒー&ケーキをいただきながら、気軽に参加してもらうための取組。中山欽吾館長のスライドを交えた、分かりやすい解説とコーヒー&ケーキを食べながらの気軽さから、多くの会話が生まれ、オペラに興味湧き本公演が楽しみという声が上がった。これに加えて、歴史やことば、ライフプランなど、様々な視点から『ばらの騎士』の時代背景や習俗を学んでいくことで、オペラへの理解を深めていこうとする講座を開催した。	①18 ②20 ③32 ④10 ⑤35 ⑥15 ⑦28
わくわくアート遊園地	10月1日	土	アトリウム	「ARTS(音楽と美術)が生み出すキッズパーク」を合い言葉に、グランシアタのステージ、ホワイエを会場に実施し、親子連れが集まり、大盛況であった。ステージ上では、クラシックコンサートやミュージカル体験、インターナショナルステージなどが展開された。ホワイエでは、手作りおもちゃコーナーや県産材を活用した積み木(木育)コーナー、美術館企画の「GYOGYO(魚魚)つと水族館」にも、多くの人が詰めかけた。《国民文化祭1年前イベントとして実施》	(約)4,000
もっと楽しむための 歌舞伎レクチャー	10月4日	日	映像小ホール	毎年、人気の講座である。講師の葛西聖司(古典芸能解説者)さんが動画、写真を交えてわかりやすく、軽妙な語り口で、今回の演目「義経千本桜 すし屋」と「釣女」の解説が行われた。豊富な知識に裏付けられ、登場人物の設定や素性など基本的な事項から実際の場面に応じた的確な見所指摘などが行われた。	①31 ②35
Touch The Japanese Culture 邦楽のススメ! 紙切り・太神楽編	2月24日 2月25日	土 日	九重町文化セ ンター  映像小ホール	寄席の出し物の中でも色物と呼ばれている紙切りと太神楽を紹介する取組。体験から始まり、次に芸の歴史や修行時の苦労話などを笑いネタを織り交ぜ聞いた後、実演を鑑賞した。太神楽では、茶碗や枡の傘回しから始まり、くわえ撥にいろいろと飾りを乗せていき、最後は土瓶を自在に操った。紙切りでは、お客さんから注文により、龍や花嫁などを切り抜いていき、参加している子どもの横顔を即興で切り抜き、大きな拍手をいただいた。子どもから年輩の方まで幅広い年齢層の参加者であったが、皆、伝統芸能を身近に感じられたと評価が高かった。	①54 ②83
舞台メイク・ワークショップ	2月4日	土	映像小ホール	今年の講師は、舞台、雑誌、TVCMで、有名俳優やタレントのメイクを担当する赤松絵利さん(大分県出身)で、舞台に映えるメイク方法が体験できた。目を目立たせる方法、顔を明るく見せる方法など、モデルを使って具体的に指導があった。参加者は、ミュージカル・演劇以外にもフラダンスやベリーダンスなど様々なジャンルから集まり、関心の高さが窺えた。	66
音楽による心の復興コンサート	8月21日 12月17日	土	①日田市立戸 山中学校 ②日田市大鶴 地区公民館	ア)宇佐市安心院出身のメ野(龍笛)さんを中心にした3人の若手雅楽奏者によるコンサートを実施。間借りしている小野小学校の児童も含め約50人の子どもたちに、演奏を披露した。ほっとする雅びな音色で、癒やしのひとときとなった。 イ)大分出身の水谷晃さんが、公民館に住民の方に集まってもらい、ヴァイオリンのソロ演奏を楽しんでもらった。地区の子どもからお年寄りまで集まり、安らぎの音色に、ひととき耳を傾けた。	①50 ②30
アウトリーチ・学校特別コンサート	12月19日	土	明星小学校 (別府市)	12月19日に、大分出身の水谷晃さんが、明星小学校(別府市)を訪れ、ヴァイオリン演奏を楽しんだ。小学生約300人を対象に、トークを織り交ぜ1時間ほど演奏を聴いた。日ごろ聴く機会のない生のヴァイオリンの音を身近にし、楽器体験もあり、子どもたちにとって新しい発見のあったコンサートとなった。	300

<p>アウトリーチ・コンサート『しあわせストーリー』</p>	<p>(1) 6月20日 (2) 6月21日 (3) 6月26日 (4) 7月6日 (5) 7月7日 (6) 7月18日 (7) 7月19日 (8) 8月8日 (9) 8月21日 (10) 8月21日 (11) 8月21日 (12) 8月29日 (13) 9月12日 (14) 9月28日 (15) 10月2日 (16) 10月6日 (17) 10月12日 (18) 10月17日 (19) 10月18日 (20) 11月2日 (21) 11月21日 (22) 11月25日 (23) 11月27日 (24) 11月28日 (25) 11月30日 (26) 12月4日 (27) 12月8日 (28) 12月11日 (29) 12月12日 (30) 12月14日 (31) 12月19日 (32) 12月22日 (33) 1月19日 (34) 1月22日 (35) 2月1日 (36) 2月9日 (37) 2月15日 (38) 3月7日 (39) 3月13日</p>	<p>各学校・施設</p>	<p>日頃クラシック音楽に触れることの少ない人々に、オーディションを通過し、研修を終えた大分県にゆかりのある若手演奏家を派遣し、生のクラシック音楽とその魅力をお届けした。</p> <p>(1) 豊後高田市／呉崎小学校 (2) 宇佐市／糸口小学校 (3) 宇佐市／宇佐小学校 (4) 宇佐市／安心院小学校 (5) 佐伯市／社会福祉法人長陽会 (6) 国東市／特別養護老人ホーム「くにさきの郷」 (7) 国東市／安岐中学校 (8) 中津市／今津コミュニティーセンター (9) 宇佐市／安心院文化会館(安心院小学校) (10) 宇佐市／安心院文化会館(市民) (11) 日田市／外山中学校(小野小学校を含む) (12) 日出町／JAべっふ日出 (13) 宇佐市／院内中学校 (14) 国東市／国見中学校 (15) 宇佐市／院内中部小学校 (16) 中津市／沖代小学校(2公演) (17) 宇佐市／柳ヶ浦小学校 (18) 宇佐市／封戸小学校 (19) 宇佐市／天津小学校 (20) 宇佐市／駅館小学校 (21) 宇佐市／高家小学校 (22) 玖珠町／古後中学校 (23) 宇佐市／特別養護老人ホーム「宇水園」 (24) 宇佐市／和間小学校 (25) 宇佐市／豊川小学校 (26) 宇佐市／長洲小学校 (27) 国東市／武蔵中学校 (28) 竹田市／菅生小学校 (29) 宇佐市／安心院中学校 (30) 日出町／大神小学校 (31) 竹田市／社会福祉法人博愛会 コロニー久住 (32) 大分市／岡病院 (33) 宇佐市／佐田小学校 (34) 宇佐市／長洲中学校 (35) 中津市／本耶馬溪公民館 (36) 大分市／野津原公民館 (37) 姫島村／姫島中学校 (38) 大分市／大分市子育て支援会(コンパルホール) (39) 宇佐市／北部中学校</p>	<p>(1)40 (2)44 (3)45 (4)45 (5)30 (6)83 (7)62 (8)54 (9)60 (10)400 (11)50 (12)30 (13)86 (14)90 (15)24 (16)125 (17)45 (18)38 (19)41 (20)70 (21)51 (22)30 (23)60 (24)90 (25)65 (26)38 (27)55 (28)47 (29)53 (30)48 (31)68 (32)51 (33)41 (34)80 (35)28 (36)23 (37)37 (38)60 (39)126</p> <p>合計 2,513人</p>
<p>エモスタッフ育成事業</p>	<p>4月19～21日</p>	<p>iichikoグランシ アタ 他</p>	<p>ホールボランティアとしての「emoスタッフ」について、第14期(平成29～30年度)として決定した31人に対して、新人研修を行った。以後、財団が主催・共催する公演等に、レセプションリストとして活動するとともに、学生にレセプションリスト活動を指導するほか、オーケストラやオペラ、室内楽の勉強会を開催したり、オペラやミュージカルのリハーサルを視察するなど、多面的なスキルアップを図った。</p>	<p>31</p>